

植物多様性センターの「水辺の小さな春」

今年の冬は暖かいと思えば寒く、寒いのかと思うと暖かく、結局どっちなの？という感じが続いています。じつは池や水路は日によってはまだ氷が張ることもしばしばです。ところが、泥や水の中をそ~っとのぞいてみると、思いもよらず春の気配が押し寄せていることがわかります。すでに芽が動き始めている水生植物のいくつかをご覧ください。水生植物のたくましさの一端を垣間見ることができるのではないのでしょうか。



2月の朝の池：水面が完全に結氷している様子



ヌマトラノオ：石の間から枯れた茎とともに芽が伸びている



ハンゲショウ：泥の中からのよきによきと太い芽が伸びている



ショウブ：枯れた昨年の葉の中心には緑色の芽が見える